

こころの便り

第288号
令和6年3月

〒679-4343
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kiminami@shingu.co.jp
電話 0791-7511212



新宮運送ホームページ

手本となる

株価が史上最高の記録を更新した。しかし、我が国が好景気で給料も上がったなどという実感は微塵も感じられない。

世界経済はどこに向かっていくのか。明治時代に海外の株式会社という仕組みを我が国に取り入れた渋沢栄一翁は、算盤だけでは無い論語という道筋を大事にしなくてはならないと説かれた。つまり、数字を追いかけるとばかりに熱中すると正しいことを見失うという教えでもある。

私たちの運送業で言えば、売り上げを上げるためにスピードを上げてトラックを走らせて、トトロ走る車を追い立てていくと例えると、言い過ぎだろうか。

最高の売り上げや利益を確保するために、日本を代表するトヨタ自動車に関連する会社が次々にウソをついて認証を得ていた事実が表面化している。ここにはトップである責任者が逮捕されて罪に問われるという当たり前が存在しない。

トヨタグループの日野自動車、デンソー、ダイハツ、豊田自動織機など、巨大企業は日本を代表すると言いつつ巨額の利益を獲得して税金をしっかりと納めて国を潤していると思いきや、5年間は全く払っていない事実がある。

一方、大手企業は取引先の支払いを江戸の商人が用いていた約束手形という方式で支払いをする。現在は電子決済と呼ばれているが、実情は同じだ。仕事をして、請求書を発行して支払いを受ける。しかし、現金となるのは6ヶ月も先のことになる。手形が消えた今は、約束だけが頼りだ。

鍵山相談役から怒りの電話があった。これは、大人が子供の手本になっていないということを示されていると受け止めた。ズルばかりする大人を見ながら育つ子供たちは立派な人となっていくだろうか。完璧であればいいと言わない。

せめて世の中を穏やかにと真面目に取り組んでいく姿を子供たちには見せていこうではないか。政治家も大企業もダメになってしまった我が国。

心ある人が実践することしか取り戻せないと感じている。責め立てるだけでなく、自らも正していく姿勢を大事にしていきたい。

被災地にこころを寄せながら

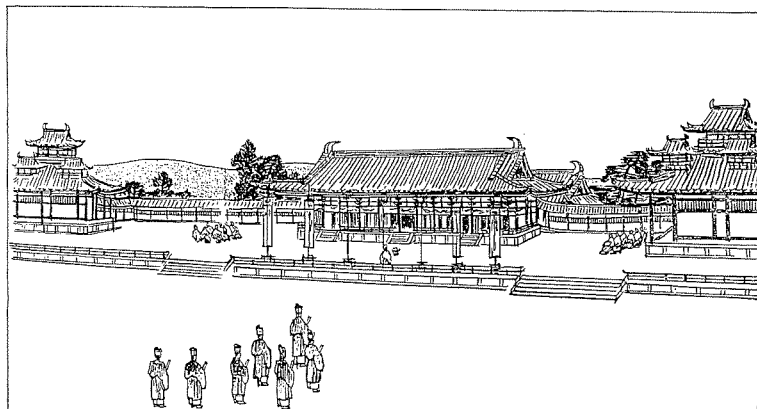
木南 一志 拝

尋常小學校國史 上巻

第十一 桓武天皇と坂上田村麻呂②

坂上田村麻呂をして蝦夷を討たせた功をたたえ

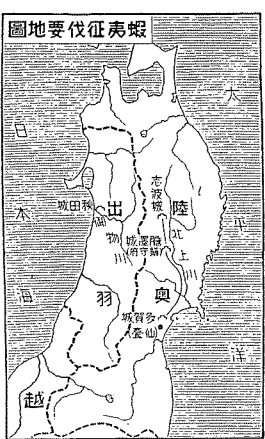
ときに日本武尊の蝦夷御征伐の後、齊明天皇の御代に、阿倍比羅夫さらに舟いくさをひきゐて、日本海海岸の蝦夷をうち従へしが、太平洋にのぞめる地方の蝦夷は、なほしばくそむきて人民を害せしかば、桓武天皇は、又坂上田村麻呂を征夷大將軍として、之を討たしめたまへり。田村麻呂は、生れつき武勇にして、しかもなさせ深く、怒る時は猛獸も恐れてにげ、笑ふ時は稚兒もなつきてはひよりたりといふ。田村麻呂兵をひきゐて發し、いたる所に賊を破り、遂に今の陸中に進みて、賊を平げしかば、これより東北の地方始めてしづまれり。



大極殿

田村麻呂の功

田村麻呂は其の功によりて、重く賞せられ、官位もしだいに進み、第五十代嵯峨天皇の御代に至りて薨ぜり。天皇は墓地を山科にたまはり、屍を平安京に向はせ、武器をそへて葬らしめたまへり。これより後將軍となりて出征する人々は、此の墓



に參詣して武運をいのれりといふ。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いていただいております。